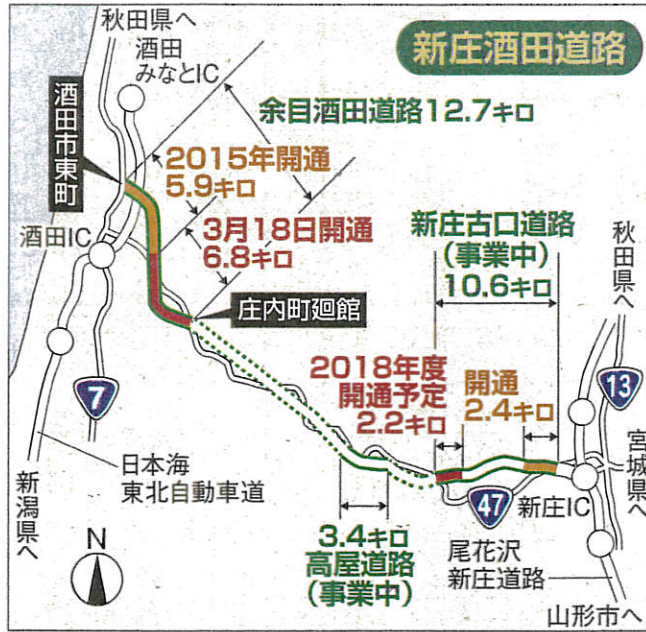




関係者がテープカットし、くす玉を割って余目酒田道路の全線開通を祝った
—庄内町常万



地域高規格道路・新庄酒田道路を構成する「国道47号余目酒田道路(延長約50キロ)の二目酒田道路」(同12・7キロ)

余目酒田道路全線開通

10分短縮 物流効率化の期待

が18日、全線開通した。通行無料で、国道7、47号の利用と比較して庄内町から酒田市街地までの所要時間が約10分短縮される。午後4時の開通を前に、開通式典が庄内町役場西庁舎で行われた。出席した関係者ら約180人を前に吉村美栄子知事が「庄内地域と最上地域のアクセスが格段に改善された。今後、新庄酒田道路の整備促進に全

力で取り組む」と述べ、原田真樹庄内町長、津田修一国土交通省東北地方整備局長もあいさつした。丸山至酒田市長が「余目から酒田市の中心部まで素晴らしい道路でつながった。地域づくりにしっかりと生かしていきたい」と謝辞を述べた。庄内町常万の余目東交差点付近でテープカットし、くす玉を割って全線開通を祝った。関係者が乗った約40台の車両によるパレードも行われた。余目酒田道路は新庄酒田道路のうち庄内町廻館―酒田市東町間の名称で、2004年に事業着手し06年の着工。15年11月

に同市新堀―東町間の5・9キロが開通した。物流の効率化や酒田港を起点とする観光周遊エリアの拡大、同町余目地区での交通事故の減少が期待されている。